

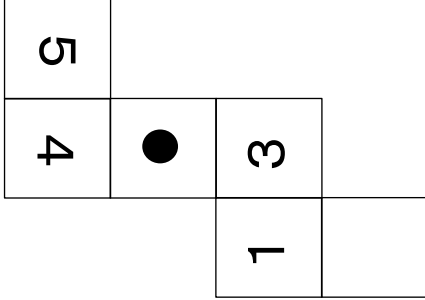
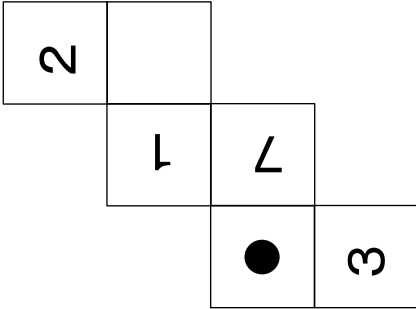
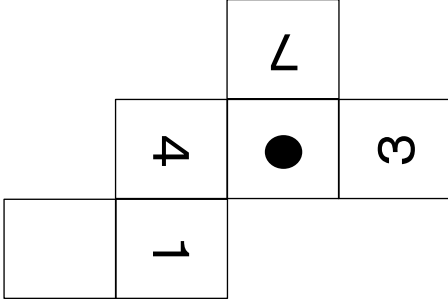
解答例

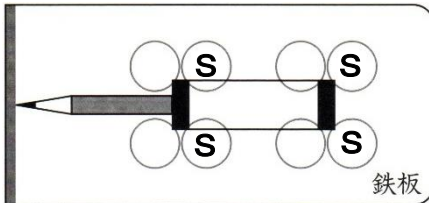
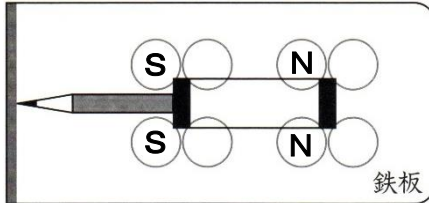
適性検査 I

1	問題 1	自分らしい音	10点
	問題 2	もっと鳴らそうと気負いすぎたから。	20点
	問題 3	(省略)	70点

適性検査 II

1	問題 1	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>14</td> <td>21</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>24</td> <td>32</td> </tr> </table> <p>〔説明〕  AとCの和はBの2倍になっていて、DとFの和はEの2倍になっている。  したがって、BとEの和の3倍が、6個の数の和と同じになる。  <math>135 \div 3 = 45</math>なので、BとEの和が45になる場所を見つければよい。</p>	14	21	28	16	24	32	16点																																									
	14	21	28																																															
16	24	32																																																
問題 2	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="4">〔アの側面に書く4個の数〕</td> <td colspan="4">〔イの側面に書く4個の数〕</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="4">〔ウの側面に書く4個の数〕</td> <td colspan="4">〔エの側面に書く4個の数〕</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td colspan="4">〔アの展開図〕 <small>てんかいず</small></td> <td colspan="4"> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>5</td> <td>●</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	〔アの側面に書く4個の数〕				〔イの側面に書く4個の数〕				1	2	3	5	1	3	4	5	〔ウの側面に書く4個の数〕				〔エの側面に書く4個の数〕				1	2	3	7	1	3	4	7	〔アの展開図〕 <small>てんかいず</small>				<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>5</td> <td>●</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table>				5	●	3			1		2	24点
〔アの側面に書く4個の数〕				〔イの側面に書く4個の数〕																																														
1	2	3	5	1	3	4	5																																											
〔ウの側面に書く4個の数〕				〔エの側面に書く4個の数〕																																														
1	2	3	7	1	3	4	7																																											
〔アの展開図〕 <small>てんかいず</small>				<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>5</td> <td>●</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table>				5	●	3			1		2																																			
5	●	3																																																
	1		2																																															

		<p>〔イの展開図〕</p>  <p>〔ウの展開図〕</p>  <p>〔エの展開図〕</p> 	
<p style="text-align: center;">2</p>	<p>問題 1</p>	<p>図 1 より、主ばつに適した林れいは、50 年以上であることが分かる。図 2 の 2017 年の林れい構成をみると、主ばつに適した林れい 50 年を経過した人工林の面積は大きい。林れい 30 年よりもわかい人工林の面積は小さい。1976 年、1995 年、2017 年の変化から、林れい 50 年以上の人工林が主ばつされると、しょう来、主ばつに適した人工林は少なくなっていくことが予想される。よって、利用することのできる木材の量が減ることが課題である。</p> <p>(選んだ二つを○で囲みなさい。)</p> <p style="text-align: center;"> <input type="radio"/> 図 3      <input type="radio"/> 図 4      <input type="radio"/> 図 5 </p> <p>問題 2</p> <p>図 3 のように商品を生産する立場の人たちが、間ばつ材を使った商品を開発したり、利用方法を考えたりすることで、さまざまな商品が生まれる。また、商品を買う立場の人たちも、図 4 のような間ばつ材を知ってもらう活動を通じて、間ばつ材や、間ばつ材を使った商品に関心をもつ。これらの活動から、商品を売ったり買ったりする機会が生まれ、間ばつ材の利用がそく進される。</p>	<p style="text-align: center;">15 点</p> <p style="text-align: center;">15 点</p>

3	問題 1	(1)		1 4 点
		(2)		
		<p>[理由]</p> <p>図 6 から、㉔は㉓に対して、つつの右側のじ石の極は変わらないが、左側のじ石の極は反対である。図 7 のイより、鉄板に置く 4 個のじ石のうち、右側の 2 個のじ石の上側の極は変えずに、左側の 2 個のじ石の上側を N 極から S 極に変えるとよいから。</p>		
問題 2	(1)	2 個	1 6 点	
	(2)	[大きい場合] ㉔		
	<p>[理由]</p> <p>①はA方向がそろっていないので、N極とS極が引き合う部分と、N極どうしやS極どうしがしりぞけ合う部分がある。それに対して、②はA方向がそろっているので、ほとんどの部分でN極とS極が引き合う。そのため、①より②のほうが引き合う部分が多いから。</p>			

適性検査Ⅲ

1	問題 1	1組の入れた玉の 個数	2組の入れた玉の 個数	3組の入れた玉の 個数	15点	
		0 個	16 個	9 個		
	問題 2	文字の並び <small>なら</small> を作る紙に書き入れられた 文字の並び		ゆしえ		15点
		かぎの紙1の○に書き入れられた数字		1		
		かぎの紙2の○に書き入れられた数字		2		
	問題 3	文字の並びを作る紙に書き入れられた 文字の並び		エイエ		20点
		まわす回数を書き入れる紙に書き入れ られた数字		1		
2	問題 1	時計回りに60度回転		1 回		10点
		反時計回りに90度回転		2 回		
	問題 2	最 初 → 2 番 め → 3 番 め → 4 番 め → 5 番 め → 6 番 め → 最 後 (1)      (5)      (2)      (4)      (7)      (3)      (6)				15点
	問題 3	回転の合計が2回 のもの	「ア」→「イ」			25点
回転の合計が4回 のもの		「ウ」→「ア」→「イ」→「イ」				